



## 男女共同参画社会の実現に向けて 福岡市と大阪市でリレーシンポジウム

内閣府、男女共同参画推進連携会議、一般社団法人日本ヒーブ協議会が主催するシンポジウムが去る十二月四日、福岡市で開催された。第一部は、内閣府男女共同参画局黒木理恵調査課長が「多様な選択を可能にする学び〜令和元年版男女共同参画白書より〜」をテーマに基調講演した。

第二部は九州大学大学院加留部貴行准教授をモデレーターに迎え、黒木氏とハウステンボス(株)坂口克彦代表取締役社長、福岡市市民局宇出研男女共同参画部長がパネリストとして、九州の男女共同参画社会の実現に向けて、パネルディスカッションを行った。企業・行政での取り組み、現状を共有したうえで、アンコンシヤスバイアスにとらわれない意識改革、男女だけではなく、若い世代や外部からの多様な価値観の受け入れ等について活発な意見が交わされた。一月十七日には大阪市でも同様のシンポジウムが開かれる。